



年 組 名前

道新で
ワークシート

ウポポイ きょう開業



アイヌ文化復興へ新時代

【白老】政府がアイヌ文化復興の拠点として胆振管内白老町に整備した「民族共生象徴空間（ウポポイ）」が12日、開業する。11日には現地でも道内各地のアイヌ協会関係者や関係閣僚ら約170人が出席して開業記念式典を行った。ウポポイを運営するアイヌ民族文化財団（札幌）の職員が古式舞踊「イオマンテリムセ（クマの霊送りの踊り）」を披露し、開業ムードを盛り上げた。

式典には菅義偉官房長官や萩生田光一文科科学相、鈴木直道知事、ウポポイ開設に尽力した北海道アイヌ協会の加藤前理事長らが出席した。菅氏はあいさつで「ウポポイはわが国が多様で豊かな文化を持つ社会を実現していくための象徴だ。国内外から一人でも多く訪れ、アイヌ文化の素晴らしい体験をしてほしい」と述べ、政府としてウポポイの魅力向上やアイヌ文化の復興発展に引き続き取り組む姿勢を強調した。

加藤氏もあいさつに立ち、アイヌ民族が差別を受け

記念式典で古式舞踊

けてきた過去を振り返り、「開業は大きな歴史の始まりだ。人間の価値は民族のポポイが人間の和合や共生の精神に寄与する拠点となることを確信している」と声を詰まらせながら呼び掛けた。

ウポポイの中核施設は、北日本初の国立博物館となる国立アイヌ民族博物館で、アイヌの言葉や精神世界、歴史、暮らしなどを常設展示で紹介している。伝統的なコタン（集落）を再現したエリアや歌・踊りを鑑賞できるホールのほか、大学などが保管していたア

イヌ民族の遺骨を納めた慰霊施設も整備された。総工費は約200億円。

政府は当初、4月24日の開業を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ2度延期していた。

年間来場者数100万人を目標に掲げているが、当分は感染対策として事前予約制にして入場者数を制限する。12日のチケットはほぼ完売している。13日は休館日で、14日以降は空きがある。（工藤雄高）

2020年7月12日（日）朝刊 全道版 1ページ（記事は再編集しています）

- ①アイヌ協会の加藤前理事長は、ウポポイの開業について、どのような表現を用いていますか。9文字で書きましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- ②ウポポイは、新型コロナウイルスの感染拡大をふまえ3ヶ月近く遅れて開業しました。この事実をもとに1つ見出しを加えるとしたら、どのような表現にしますか。アイヌ協会の人の立場になって考えてみましょう。